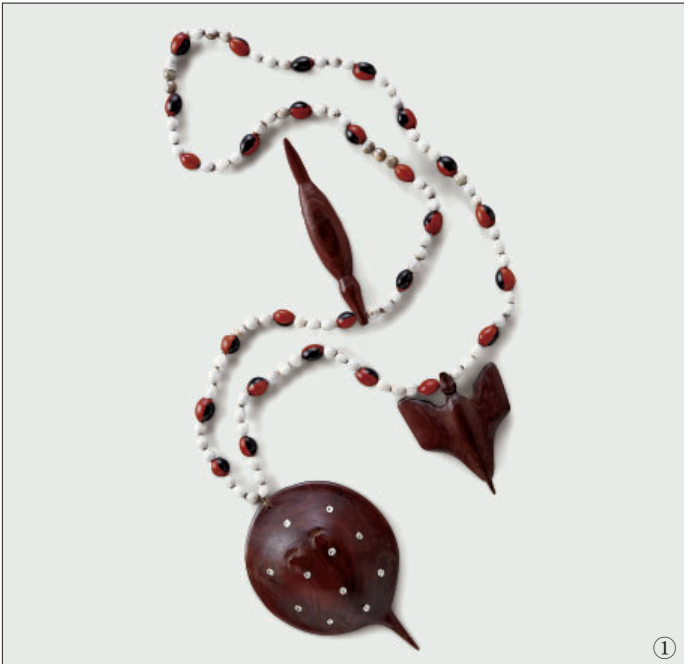


石川県七尾美術館だより

No.110

令和4年 夏

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



国立民族学博物館コレクション

ビーズ—つなぐ・かざる・みせる

7月30日(土)～9月11日(日) 会期中無休



首飾リ(インド)

春の特別展「長谷川等伯展」に続く、夏の特別展です。当館初の民族文化に関する展示で、国立民族学博物館所蔵資料を中心に、世界の様々なビーズを紹介する、夏にピッタリの内容です。

ビーズは

個々の部材に穴をあけるなどしたもの、紐やゴムなどを通して



貝貨(ミクロネシア連邦)

つなげたもので、飾り玉・数珠玉・トンボ玉などは部材となります。今から12万年前に誕生して現在にいたるまで、人びとの美への希求や祈り、人と人とのつながりを示すものとして親しまれてきました。

素材は石・植物・貝・ガラスのほか、動物の歯や虫の羽根など幅広く、様々な世界が作り出されます。



首飾リ(インド)

本展では、ビーズが私たち人類の作り出した最高傑作の一つとして捉え、つなぐ・かざる・みせるをキーワードとして、世界のビーズの魅力を紹介します。また、当館ならではの特色として、桃山時代に活躍した能登七尾出身の絵師・長谷川等伯の作品で、ビーズの装飾品が描かれた仏画の複製画や、能登の考古遺跡からの出土資料も一部紹介します。



「複製日天画像」部分(「十二天」の内)
羽咋市・正覚院蔵 ※原本：石川県
指定有形文化財 長谷川信春(等伯)
筆 同院所蔵

展示は5つの章からなり、《ビーズとは何か》ではじまり、《多様な素材》では植物・卵・貝やサンゴ・歯や牙・骨や爪やウロコ・虫・鳥の羽根・金属など、様々な素材によるビーズを紹介。《歩み》では「石の道」「貝の道」「ガラスの道」を紹介します。「石の道」は石の採れる場所と石が利用される場所を繋ぐ経路を示し、「貝の道」「ガラスの道」もまた同様です。「ガラスの道」は、古代オリエントにおいてガラスの生産がはじまり、大航海時代にはヴェネツィアやボヘミアのビーズが世界に広がっていったのです。またここには、先述した長谷川等伯筆の仏画で、美しいビーズが描かれた複製画のほか、ビーズを身につけたネパールの神像も展示します。

《ビーズで世界一周》では世界のバラエティー豊かなビーズをご覧いただき、《グローバル時代のビーズ》では、ペーパービーズや再生ビーズ、母から子に伝えられてきたビー



首飾り (モロッコ)



頭飾り (ブラジル)

ズバツグなどを展覧します。このほか、くらしのなかに見られるビーズの映像を上映します。約200点に及ぶビーズの世界を、ぜひご堪能ください。

“ビーズで世界をつなぐ”をテーマにする今回の特別展は、今の時代にぜひご覧いただきたい展覧会です。

また、会期中は専門家によるギャラリートークやセミナー、子ども対象のイベントも開催予定ですので、合わせてお楽しみください。

《関連イベント》

①開会式

7月30日(土) 10時～約30分

②ギャラリートーク

7月30日(土)

午前の部…開会式終了後約45分

午後の部…14時～約45分

9月11日(日)…14時～約45分

講師…池谷和信(国立民族学博物館教授)

対象…①②とも、どなたでも(高校生以上要観覧券)

③ワークショップ

「フィールドワークで発見!ビーズのひみつ」

8月13日(土)…①14時～1時間30分

8月14日(日)

午前の部…②10時30分～1時間30分

午後の部…③14時～1時間30分

内容…夏休みの自由研究に!ビーズ研究者・池谷先生といっしょに展示室を見学しながら、ビーズの秘密を探ります。

講師…池谷和信(国立民族学博物館教授)

対象…小学3年生～中学3年生

※③は対象年齢外の方のご参加も歓迎します。

定員…各回12名

参加費…無料(高校生以上は要観覧券)

申し込み…7月13日(水) 9時～電話受付。

※定員に達し次第締め切ります。

④特別セミナー

「ビーズに込められたメッセージ

—人と仏をかざる—」

8月27日(土)…13時30分～15時30分

講師…河村好光(石川考古学研究会副会長)

長岡龍作(東北大学教授)

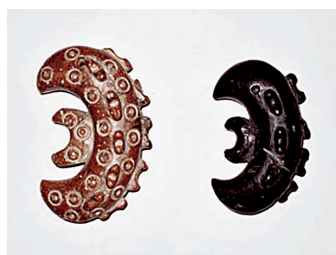
池谷和信(国立民族学博物館教授)

対象…どなたでも

定員…先着30名

参加費…無料

会場…アートホール



子持勾玉(高田遺跡出土)
羽咋郡志賀町所蔵



首飾り (アメリカ合衆国)

※所蔵先の記載のないものは、すべて国立民族学博物館所蔵。

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	700円	
	350円	300円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

池田文夫氏の「眼」

7月2日(土)～24日(日)

平成7年(1995)の当館開館以来、所蔵品の中核として歩みを続けてきた「池田コレクション」。七尾市出身の実業家・池田文夫氏(1907～87)が生涯をかけて蒐集した美術工芸品です。

これまで様々な形で紹介してきました同コレクションですが、今回の展覧会では4つのテーマを設定し選抜、計66点を展示します。

【第1展示室】 めでたいもの尽くし

松竹梅や鶴亀といった古くより吉祥的な意味が付されてきたものを題材・意匠にした絵画ややきものなどを展示します。例えば、菱田春草「蓬萊山図」は、中国の伝説上の神山・蓬萊山を描いた作品です。中国東方の海の中にあり、鳥獣はみな白く、宮殿は金銀で、不老不死の薬があるとされます。春草は輪郭線を表さずに対象を描く「朦朧体」を試みたことで知られますが、本作も柔らかな筆致で、海中に屹立する蓬萊山が描かれています。



「蓬萊山図」菱田春草

【第2展示室】

3つのテーマを設け、作品を紹介します。

池田氏ゆかりの地の品々

池田文夫氏は七尾市に生まれ、福井高等工業専門学校を卒業し、紡績会社に入社。その後、岐阜県大垣市で紡績会社を設立しました。

ここでは、コレクションの中から、「美濃焼」や「九谷」など、氏の生まれた石川県・活躍した岐阜県に関連する作品を展示します。

日本画セレクション

池田コレクションの中心は「美濃焼」に「唐津」などを加えた茶道美術品ですが、江戸時代の肉筆浮世絵や日本の近現代作家の日本画なども充実しています。

ここでは、狩野芳崖や川合玉堂など、近現代の大家たちの作品を中心に楽しみたいと思います。



「維摩居士図」狩野芳崖



「養老」関野聖雲

※掲載作品はすべて「池田コレクション」です。

モノを伝える

普段、作品が収められている箱には、作品名の由来や作者の鑑定結果(極書)などが書き付けられている場合があります。これを箱書といい、作品を知る上で重要な手掛かりとなります。また、池田氏のコレクションはその当時から著名だったようで、しばしば展覧会に出品されたり、書籍で紹介されたりしていました。

ここでは、箱書や展覧会目録などもあわせて展示、今ここにある作品たちがたどってきた道程を紹介します。

池田氏は、あれこれと難しいことを考えるのではなく、お気に入りの作品に触れることを何よりの喜びとしていたようです。皆さまも、ぜひお気に入りの1点を見つけてみてはいかがでしょうか？



「織部輪花南瓜葉文台鉢」

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	220円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	280円	280円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

* 第54回石川県勤労者写真サロン展

7月9日(土)～7月10日(日)

初日は10時から 最終日は17時まで

主催 石川県勤労者文化協会

連絡先 平日 ☎ 076・231・1746

休日 ☎ 090・2374・7907

* 七尾美術作家協会展

7月15日(金)～7月18日(月・祝)

最終日は16時まで

主催 七尾美術作家協会

連絡先 ☎ 0767(57)1258(村上)

* 第28回七尾高校同窓美術会展

9月23日(金・祝)～9月25日(日)

最終日は16時まで

主催 七尾高校同窓美術会

連絡先 ☎ 0767(52)1613

加地 求

* 映心会書作展26

9月29日(木)～10月2日(日)

最終日は16時まで

主催 映心会 三藤 観映

アートホール

* 正派若柳流若柳会 一柳会 ゆかた会

8月28日(日)開演13時

主催 正派若柳流若柳会 一柳会

当館収蔵品貸出情報 (7月1日現在)

※展覧会の詳細は各施設にお問い合わせください。

作品名 ※作品は全て稲元 実作

①日本画「海」 1面

昭和55年(1980)制作

第12回改組日展出品

②日本画「歩拾弐歳」 1面

昭和60年(1985)制作

第17回改組日展特選受賞

③日本画「鎮魂1972」 1面

グラン・ド・ジョラス

平成13年(2001)制作

第33回改組日展出品

会場 加藤栄三・東一記念美術館

(岐阜市大宮町1-46)

☎ 058(264)6410

展覧会 「抒情の旋律」

稲元 実 日本画展

会期 7月26日(火)～9月11日(日)

《毎週月曜日休館》

作品名 ※作品は全て山岸一男作

①漆工「沈金象嵌合歡図色紙箱」 1合

平成5年(1993)制作

第40回日本伝統工芸展出品

②漆工「沈彩漆箱『宴乃阿と』」 1合

平成17年(2005)制作

第22回日本伝統工芸展出品

③漆工「沈金彫水引草飾箱『古城尔而』」 1合

平成21年(2009)制作

第56回日本伝統工芸展出品

会場 石川県輪島漆芸美術館

(輪島市水守町四十荏11)

☎ 0768(22)9788

展覧会 「人間国宝 山岸一男の世界」

会期 9月17日(土)～11月6日(日)

《会期中無休》

「沈彩漆箱『宴乃阿と』」
山岸一男

舞台は彦根城(滋賀県)の庭園。春雨にうたれ様々な色に変じた石畳に、舞い散った桜の花びらが方々に貼りついていきます。

華やかながらどこかはかなげな晩春のひとコマを、「沈金象嵌」の技法で見事に表した作品です。

「鎮魂 1972 グラン・ド・ジョラス」
稲元 実

学生時代、登山中に遭難した山岳部の後輩が、約30年ぶりに発見されたことを機に描かれた作品。

画面は後輩をやさしく包む作者自身の姿で、鎮魂の想いを込めたそうです。

ノトの絵画物語

「ふるさとゆかりの名画」

9月17日(土)～10月23日(日)

人におのの異なる人生があるごとく、美術工芸品も成り立ちや伝来といった、それぞれに様々な「物語」を有しています。

例えば、歴史上の著名人が深く関わり生まれた作品。あるいは幾多の人びとの手を巡り、生々流転を繰り返しつつ受け継がれる作品。そして間一髪、寸前のところで亡失を免れた、もしくは惜しくも失われてしまった作品などなど。

作品鑑賞時には、各品にまつわる「物語」を知ることにより、それらがいつそう光彩を放つて見え、そして愛着も増すのではないだろうか。

そこで本展では、能登地方に伝来する古今の絵画に焦点をあて、由来やエピソードといった「物語」も交えつつ紹介予定です。

長谷川等伯(1539～1610)や「長谷川派」の、作品や資料も展示予定ですのお楽しみに。



「仏涅槃図」 長谷川等誉

同時開催展覧会は「いさましく、たくましく」。力強さや迫力を感じさせる作品を展示します。

2022 イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展

11月3日(木・祝)～12月11日(日) 会期中無休

毎春、イタリアの古都・ボローニャで開催される世界最大規模の児童書専門の見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」。今年は、コロナ禍で中止となっていた本展が3年ぶりに開催されるなど、大きく動きのあった年でした。

このブックフェアが主催する絵本原画コンクールは絵本のために描かれた5枚1組のイラストが審査されます。今年は過去最多となる92カ国3873組の応募があり、その中から日本人4人を含む29カ国78人の作家が入選しました。

本展覧会では、この入選作を展示するほか、特別展示として、2019年ボローニャS.M出版賞受賞作家のサラ・マツエッティ(イタリア)と2021年に同賞を受賞したチュオ・ペイシン(台湾)による新作絵本も展示します。

当館は日本海側唯一の開催館として、25回目を迎えます。個性あふれる絵本原画の世界をぜひお楽しみください。



アマンダ・ミハンゴス (メキシコ)

石川県七尾美術館だより No.110

発行日:令和4年7月1日
発行者:公益財団法人七尾美術財団
〒926-0855 七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL.0767-53-1500 FAX.0767-53-6262
<https://nanao-art-museum.jp>

表紙

国立民族学博物館コレクション

「ビーズ - つなぐ・かざる・みせる」より

- ①首飾り (コロンビア)
- ②首飾り (インド)
- ③首飾り (フィジー)
- ④手袋 (アメリカ合衆国)